

水の郷シンポジウム

～森の恵み、かけがえのない水環境を守ろう～

蛇口をひねるだけでいつでも出る水。普段、私たちは水の大切さを意識しないであたり前のように使っています。きれいな水は、どこから生まれてくるのでしょうか。そして、使った水はどこへ流れていくのでしょうか。

私たちの生命や暮らし、地域の文化、産業などすべての源である水環境への関心を高め、保全活動への取り組みにつなげることを目的に、シンポジウムを開きます。多数のご来場をお待ちしています。



期日

10月13日(月)

開場/午後1時30分

会場

仙南公民館

- 主催 美郷町
- 後援 横手市、横手川と水環境を考える会
横手川水辺のふれあいフェスタ実行委員会
- その他 来場者全員に記念品

当日はシャトルバスを運行します。ご利用の方は、10月8日(水)まで、お名前と乗車場所を住民生活課へご連絡ください。

【行き】	千畑庁舎	13:00発
	ふれあいセンター	13:15発
	六郷体育館	13:25発
	仙南公民館	13:40着
【帰り】	仙南公民館	16:35発
	六郷体育館	16:50発
	ふれあいセンター	17:00発
	千畑庁舎	17:15着

日程

- 午後1時30分 受付開始
- 午後2時 開会式
- 午後2時15分 基調講演 肥田 登氏(秋田大学名誉教授)
演題 「かけがえのない水環境を未来へ」
- 午後3時10分 研究発表 六郷中学校科学部
テーマ「六郷の清水群とハリザッコの繁殖」
パネルディスカッション
テーマ「みんなで守ろう 美郷の水」
コーディネーター 肥田 登氏
パネリスト
美郷町観光協会開発宣伝部会 高橋 隆次氏
北小屋ボランティア代表 佐々木哲雄氏
一丈木自治会長 森本 彌吉氏
仙北東森林組合森林整備係長 高橋 治氏
六郷中学校科学部顧問 小西 勝氏
- 午後4時10分 閉会



講師紹介

肥田 登(ひだのぼる)氏

1941年長野県生まれ、理学博士。

東京教育大学(助手)を経て、1973年に秋田大学に赴任、2007年3月同大を定年退職、同年4月秋田大学名誉教授。

1975年に六郷扇状地の地下水研究に着手。国内においては、一貫して六郷扇状地の地下水研究に主眼を置き、現在も継続中である。また、土崎小荒川地区の生態系保全型ほ場整備にも携わる。海外では、アマゾン河の研究のほか、2007年よりベトナム、ハノイ市の地下水研究(人工涵養)に取り組んでいる。



問い合わせ 役場(千畑庁舎)住民生活課 ☎0187(84)4903



▲第1回美郷町水環境保全会議

水環境の保全を推進するため、町と関係団体が相互の連携を図り、情報交換などを行う、美郷町水環境保全会議の初会合が8月28日、役場千畑庁舎で開かれました。

この日の会議では、水に係る活動を行っている団体・企業などから選任された委員と水環境関連事業を実施する町担当課職員など、合わせて11人が出席。町から、ことし4月より施行された美郷町水環境保全条例の基本理念やこの会議の果たす役割、また今年度実施する事業などの説明がありました。

委員からは、清水の清掃活動や植樹といったそれぞれの取組が紹介されたほか、上下水道や涵養池に関する意見が出されました。



「信頼のお届け」

美郷町長 松田知己



▲9月6日、町芸術文化協会芸能発表会であいさつする松田町長

いよいよ、食欲の秋本番に入りました。キノコなどの山の幸、サトイモを代表とする畑の幸、川ガニや鮭などの川の幸。本当にまあ、美味しいもののオンパレードです。一方、私を含めてメタボの方には、食うべきか食わざるべきか葛藤の時期でもあります。

こういう中、どうもここしばらく、「食」への信頼が揺らぐ事件が頻発しております。老舗料亭の賞味期限偽装や食肉偽装の件、本県の比内地鶏偽装やうなぎの産地偽装の件、先日については事故米流通の問題など、信じられない事件が発生しております。

どれもが消費者を蔑ろにした、拝金主義的な利益優先の結果です。とりわけ、事故米の件は次元の違う悪質さで、原因者には「人の命をどう考えているんだ」と怒鳴りたくなります。改めて、「食」に求められるものは何かを冷静に見つめ直す機会になりました。

ところで、町では今年から、友好都市の東京都大田区との交流を本格化させました。美郷産品を流通させることで美郷町を大田区の方々に認識してもらい、その上で人と人との交流につなげ、ひいては美郷の産業振興、地域活性化につなげて行こうという考えです。

その第一歩が区役所と町役場の職員人事交流です。この四月から実施しております。次の一歩が、大消費地である大田区に安心できる農産物を流通させる取り組みで、その先鞭を「美郷米」に定め、これまで各般の調整に取り組んできました。この度いよいよ実践に入ります。美郷の一部の新米が「心」を結ぶ「美郷米」として大田区に流通します。

日本の消費者は何を以って「食」を考えるのか。その第一が、安さではありません。絶対、安全を第一に考えます。そしてそれを信用できる信頼感を求めます。だから美郷からは、農家の方々が誠実な気持ちで額に汗して生産した安心米を、友好都市として決して裏切らないという信頼感とともにお届けしたいと思えます。

信頼できるもの。これこそが一番です。だから私はメタボを気にしながらも、やっぱり美味しく安心な地物をついつい食べてしまふ訳です。あり、また一センチ増える。

10月のふれあい談話室

10月29日(水) 役場六郷庁舎 2階町長室
午後5時から午後6時30分
ご希望のかたは前日までお申し込みください。

問い合わせ

役場(六郷庁舎)総務課 秘書広報班
☎0187(84)1111